

令和5年度職員採用試験 最終合格者（採用予定者）の皆さんへ

皆さんこんにちは！仙台市人事委員会事務局からメールマガジンをお送りします。

今回のメルマガでは、

◆先輩職員（化学）インタビューをお届けします！

.....

今回は、環境局環境対策課の庄司 倭さん（化学職入庁4年目、在課4年目）にお話を伺いました。

職種に関わらず参考になるお話があると思いますので、是非最後までご覧ください。

Q1. 現在の職場の職員構成（人数や職種の割合など）を教えてください。

環境対策課は20人程度が在籍しています。職種の内訳としては事務職はならず、化学職と衛生職がほとんどを占めます。

Q2. 現在携わっている事業（業務）の内容を教えてください。

事業場排水等の規制及び指導（立入）を行っており、事業場から河川・湖沼・海域へ排出される排水によって水質汚濁が生じないように、排水の分析により基準を超過する排水を行っていないか定期的に立入を行い、確認しています。基準超過があった際には事業者の原因を追究させ、基準適合が確認されるまで指導を行います。

Q3. 始業から退庁までの一日の仕事の流れを教えてください。

8:30 ～ 9:00 メールチェック & 立入準備
9:00 ～ 12:00 立入指導
12:00 ～ 13:00 昼休憩（場合によっては前後する場合あり）
13:00 ～ 14:00 立入指導
14:00 ～ 15:00 検体搬入 & 帰庁
15:00 ～ 16:00 立入結果報告作成
16:00 ～ 17:00 事務作業
17:00 ～ 17:15 翌日のスケジュール確認

Q4. 仕事にやりがいを感じるのはどんな時ですか。

事業場からの排水は公共用水域（河川・湖沼・海域）の水質汚濁に直結するので、排水基準超過があった事業場に指導を行い改善された時にやりがいを感じます。

Q5. 職場デビューしてから1～2週間の職場での様子を教えてください。

コロナ禍での入庁だったため、まとまった期間の新規採用職員研修がなく、自分の担当業務が決まるとすぐに、担当業務の中でやらなければならないものを前任の先輩に付きっきりで教えてもらい、こなしていました。その後、係内業務の研修や電話や窓口対応の方法などを先輩から丁寧に教えていただきました。

Q 6. 実際に働いてみて、入庁前に抱いていたイメージと違うと驚いたことはありますか。

どの業務も他部署や民間の分析機関等と連携しながら進めている点です。入庁1年目に河川等の水質調査業務を担当した際、委託設計やデータの取りまとめ・公表は環境対策課で実施し、分析については仙台市衛生研究所や民間の分析機関が実施することを知りました。それまでは、全て環境対策課が分析も含め全て実施しているものだと思っていたため、驚きました。

Q 7. 学生時代に学んだことが、今の仕事に役立っていると感じることはありますか。

現在の職場では、関係法令や届出に記載されている化学物質の名称が出てきた際に、どの物質が特定有害物質に該当するかどうかの判断ができることくらいですが、化学職の異動先には、衛生研究所や水質管理センターなどの分析を行う部署もあり、そこでは大学時代に培った分析スキルや機器・器具の取扱い方などが生かせるのではないかと考えています。

Q 8. 合格してから入庁するまでの間、どのように過ごしていましたか。また、その時期にやっておくといいこと、やっておけばよかったと思うことはありますか。

公務員は人と接するイメージがあったので、ボランティア活動に参加して人との交流を楽しんだりしていました。また、働き始めると、まとまった休暇が取れなくなるので、学生時代の長期休暇を思い残すことがないように利用するといいいのではないかと思います。

Q 9. 最後に、合格者へのメッセージをお願いします。

合格おめでとうございます。

仙台市は政令指定都市として、市民の皆様に接する業務はもちろんですが、それ以外にも規制指導や分析等さまざまな業務があり、それだけ職場の数もたくさんあります。

どの部署に配属されるか不安に思っている方もいると思いますが、きっとどの職場でも皆さんが活躍できる場があると思っています。入庁された皆さんと一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。

.....
※このメールは、令和5年度職員採用試験に最終合格した方で、メールアドレスを登録いただいた方に配信しています。